

令和5年度 第10回 北区自治協議会 議事概要

日 時 令和6年3月28日(木曜)午後3時～午後3時50分

会 場 豊栄地区公民館 大講堂

出席者 委員

菊地委員、坪木委員、諏訪委員、小日向委員、飛鳥井委員、
阿部委員、前田委員、恩田委員、清水(博)委員、有田(一)委員、
佐久間委員、佐藤(茂)委員、清水(文)委員、佐藤(成)委員、
小熊委員、竹島委員、三浦委員、寺山委員、石山委員、横山委員、
小林委員、伊藤委員、遠藤委員、日下委員、川島委員、佐藤(哲)委員
計26人

(欠席：佐藤(康)委員、此村委員、野口委員、有田(竜)委員)

事務局

[北区役所関係]

区長、副区長兼地域総務課長(以下「副区長」、区民生活課長、
健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、消防局北消防署長、
北区教育支援センター所長、北下水道分室長、地域総務課長補佐2人、
地域総務課職員3人、

計14人

傍聴者 3人

内 容

1 開会

2 議事事項 令和5年度北区自治協議会提案事業 事業評価書(案)について

前田会長

議事事項「令和5年度北区自治協議会提案事業 事業評価書(案)について」、自治協議会全体の評価としてよいかどうか審議をお願いします。各部会長から説明をお願いします。

佐久間委員

地域づくり部会は、今年1年間、地域課題の解決に向けた調査研究というところで、来年

度の事業に向けて、講習会で学んだり、視察をしました。ハザードマップの見方の講習や、県の人から福島潟放水路のお話を聞いたり、長岡震災アーカイブセンターきおくみらいに行きました。調査研究で、防災に関する見識がとても広がりまし。12月、1月には、外部のファシリテーターを招いてワークショップを実施し、来年度の事業に向けての計画を具体化することができました。また4月からも一生懸命取り組んでいきたいと思います。

清水委員

それでは、福祉教育部会の事業評価について報告いたします。

福祉・教育・防犯分野を所管しています。「地域活動の担い手不足」の調査研究をテーマに、次の事業を実施してきました。一つは、地域の茶の間の活動状況について。支え合いのしくみづくり会議コーディネーターである三浦委員から地域の茶の間の現状と課題について聞きました。二つ目、犯罪のない安全安心なまちづくりを目指して、新潟市の防犯指導員から講義を受けました。三つ目に区民アンケートの調査であります。北区自治協議会だよりなどで過去1年間のボランティア経験の有無、講座内容を集約いたしました。また、新潟医療大学と連携し、「あなたのための健康講座」を実施いたしました

評価としては、関係部署から区の現状等を聞き取ることで委員一人一人が多くの意見を出すことができ、地域課題と調査研究のテーマを設定することができました。学習会では、専門職から現場の話聞くことができ、今後の活動への参考となりました。健康講座は、大学からも大勢の学生の派遣などご協力をいただき、当日も運営にかかわることで次年度事業実施に向けてノウハウを蓄積することができました。

小日向委員

自然文化部会は、地域課題の解決、まちの活性化を中心にやろうということで取り組んできました。自然環境の保全、さらに観光交流等で地域に人流を図って、この区以外の方からもリピーターの観光客を呼んでくるという目的を実行するために、北区の地域の観光や自然の勉強しようということを目的に、4回の勉強会を開催しました。

5月27日には、ひょうたん池、南浜の海水浴場、海辺の森の視察をし、北区建設課、産業振興課から詳しい説明を受けました。8月28日は船を5隻ほど出していただきまして、船に乗り福島潟の隅から隅まで見せていただいて、潟の中をよく見るすることができました。また、潟の食材を使った潟料理を試食し、潟の食の勉強をしました。9月26日は北区郷土博物館で2時間ほど勉強させていただきまして、常設展示の解説、北区の歴史を学芸員の曾部さんから詳しく説明をしていただきました。さらに12月21日には、ビュー福島潟でレンジ

ヤーの赤井さんから福島潟をライブカメラで映した映像をもとに潟の問題についての説明を受けました。勉強したことをもとに、令和6年度は具体的に取り組みをしていきます。

前田会長

ありがとうございました。ただいまの説明について、ご質問、ご意見などがありましたらお願いいたします。異議がないということで、そのとおり決定させていただきます。

3 報告事項

(1) 北区自治協議会委員推薦会議の報告について

前田会長

次第3の報告事項の(1)「北区自治協議会委員推薦会議の報告について」です。推薦会議座長の阿部委員より報告をお願いします。

阿部委員

報告資料1「委員交代に伴う補欠の団体選出委員等の市長への推薦について」をご覧ください。今回、委員が2名辞任されたことにより、推薦会議を行いました。昨年5月の自治協議会で推薦会議の構成員に選任された方々で、3月21日に第1回推薦会議が開催されました。座長は互選で、私、阿部が座長の指名で、諏訪委員が座長代理となり審議を行いました。その結果をご報告します。表面をご覧ください。

新潟医療福祉大学教員と北地区老人クラブ連合会の選出委員が辞任されたため、それぞれの団体から交代の委員の推薦をいただきました。任期については、皆さんと同じ令和7年3月31日までとなります。この内容で特段意見がなかったため、案のとおり市長に推薦することとしました。なお、交代委員の候補者については、自治協議会推薦会議運営要綱第9条にのっとり、座長専決として区自治協議会の議決として承認いたしました。

前田会長

ただいまの報告について、ご意見、ご質問等がないようであれば、このとおり承認していただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

ありがとうございました。

(2) 新潟市共同募金委員会助成審査委員の推薦について

前田会長

報告事項(2)「新潟市共同募金委員会助成審査委員の推薦について」です。地域総務課からご報告をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

副区長

それでは、報告資料2をご覧ください。新潟市共同募金委員会から委員の推薦依頼がきています。同委員会は、新潟県共同募金会の下部組織で、助け合いの精神を基調として、新潟県内の地域福祉の推進を図るために共同募金を行う会です。新潟市区域内の地域福祉推進のために、住民の参加を得ながら共同募金活動を行っています。平成22年度からは、共同募金の分配について、募金寄付先の公正な助成に資することを目的に、地域住民や市民活動の視点で審査するための助成審査委員会を設置しておりまして、地域団体の代表として市内各区の自治協議会が輪番で委員を推薦しています。令和6年度からの2年間は、北区自治協議会からの推薦となっております。事業の内容を踏まえまして、この度は福祉教育部会から、任期や他の役職なども考慮させていただいて、佐藤康子委員にお願いさせていただきたいと考えています。なお、佐藤委員は本日欠席ですが、内諾を得ておりますことを申し添えます。

前田会長

ありがとうございました。何か質疑はありますか。

(「異議なし」の声)

「ない」という声が出ましたので、このとおり佐藤委員にお願いしようということにしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(3) 部会会議概要

前田会長

次に報告事項(3)部会会議概要について、各部会長から報告をお願いいたします。地域づくり部会、福祉教育部会、自然文化部会の順に報告をお願いします。

佐久間委員

地域づくり部会は、防災分野の地域課題の解決に寄与する事業を令和6年度に実施することになり、令和5年度は調査研究を行ってきました。検討を重ね、防災かるたを作ることに

なりました。内容については、これから詳しく決めていきたいと思ひます。

詳細は、会議概要をご覧ください。以上です。

清水委員

福祉教育部会でありますが、会議概要を見てください。事務局から「令和5年度自治協議会提案事業 事業評価（案）」について説明がありました。意見等は会議概要をご覧ください。

小日向委員

先月から次年度の計画について部会を開いております。次年度については、秋にビュー福島潟の展示室を利用しまして、トークセッションを行い、地域の食文化などについてトークセッションを開く予定にしております。会議概要については、皆さんの手元に配ってある内容です。以上です。

前田会長

ありがとうございました。今の報告について、何かご質問やご意見がありましたらお願いします。このとおりに承認させていただきます。

次第4 その他

○組織改正について

副区長

令和6年度からの北区役所等の組織改正がありましたので、お知らせをさせていただきます。まず1点目ですが、区役所の健康福祉課について、これまで保護第1係、保護第2係としておりましたが、柔軟に被保護者に対応していくために係を取り払いましてグループ制とし、「保護グループ」とさせていただきます。

2点目は、下水道部についてです。下水道部では人員を集約して下水道管きょ等の老朽化対策に対応し、持続可能な事業運営を行うために、北下水道分室及び秋葉下水道分室の業務を下水道管理センター及び東部・西部地域下水道事務所に統合することとなっております。北下水道分室の業務につきましては、下水道管理センター及び東部地域下水道事務所への統合となります。なお、受益者負担金は、区役所の区民生活課や建設課で収受可能です。

○異動所属長の挨拶（省略）

○区長あいさつ（丸山区長）

自治協議会委員の皆様、この1年、大変ありがとうございました。皆様、任期が2年ということで、もう1年ありますのでよろしくお願いいたします。

今ほど異動の職員のあいさつがありましたけれども、私はまた来年も残ることになりましたので、ぜひ皆様と一緒にまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。

私自身、去年4月に来て、北区のいろいろなところに出向き、地域の皆様とお話をさせていただきまして、北区の魅力、特徴というものを再認識したということで、それらをさらに磨いて発信していかなければ。また、皆様からお聞きする地域の課題なども、できるだけ解決していきたいということで取り組んでまいりました。

自分で振り返ってみましても、うまくいった面、なかなかうまくいかなかった面もございます。来年度、また取り組んでいくチャンスがあるということなので、しっかり進めていきたいと思っております。北区の目指す姿というものは、時代も変っていく中、そして住民の皆様も10人いれば10通りの考えがあるということなので、完成形をつくるというのは難しいのかもしれませんが、少なくとも皆様が一步一步前進しているなど、よくなっているなど、そういうことを実感できるようなまちづくりを念頭に頑張っていきたいと思っております。自治協議会の皆様のご理解、ご協力をお願いしたいと思います。本当にこの1年、どうもありがとうございました。来年度、またよろしくお願いいたします。

○新潟市防災会議の報告について

小熊委員

昨日、新潟市防災会議に自治協議会代表として出席してきましたので、簡単に報告します。委員が65名おりまして、リモート会議を含めて48人の出席でした。令和5年度新潟市地域防災計画の修正について、239項目の修正があり、修正案のとおり議決しました。

小熊委員

もう一つあります。働き世代のための「食を通じて子どもを育てる本」を作成し、市内11の小学校に約2,600家庭数分配布しました。今回、自治協議会の皆様に見ていただきたくて配布します。これは、実は共同募金会の申請をして、15万円いただきまして作ったものです。高齢者の方にもいいのかなと思いますので、ぜひご覧ください。

川島委員

防災関係で、北区で衛星電話というのは、どのくらい配置されているのでしょうか。

地域総務課長補佐

新潟市では、衛星電話というよりも、防災行政無線です。無線機が設置されています。現在入れ替え作業が進んでいるところなのですが、今までですと、各小中学校ですとか、区役所、区役所の出先の事務所等に防災行政無線という無線機を設置していました。いずれもバッテリーを搭載しているもので、停電が起きても、一応無線局の親局、中継局が駄目にならない限りは普通に通じるという形になっていました。

衛星電話というのは、それぞれに設置はないです。

川島委員

今回の能登半島地震で、皆集落が分断され、連絡方法も途絶えたということで、衛星電話をやはり取り付けないとだめだと。北区が地震にあった場合、あるいは連絡が途絶える、あるいは交通網で皆孤立してしまうということもあるのではないのでしょうか。連絡方法について無線というよりも、国で衛星電話を設けなさいということになっていないのでしょうか。

地域総務課長補佐

新潟市においても、まだ完全にそういう形で整備されているわけではないので、防災計画の中で見直しを講じたうえで整備をしていくことになろうかと思います。今のところ、先ほど申し上げましたとおり、防災行政無線、無線機での対応だったということになります。

前田会長

今の件は、次回に川島さんにこの場でご報告するというような形でよいのでしょうか。

川島委員

はい。お願いします。

佐久間委員

中越地震のときに、山間部がけっこう孤立したということで、国が自治体に対して提言としては出したけれども、義務化はしていなかったのではないのでしょうか。確かに、輪島と珠洲には衛星電話はなかったのですよね。優先すべきものは何かと考えたときに、水とか食料

とかも大事だと思うのです。

前田会長

ほかに何か、ご意見とかはございますか。ないようであれば、議題は終わりになりますので、議事進行は事務局にお返しします。ありがとうございました。